

## 議 題 2

報道機関 各位

記者発表資料  
平成21年8月28日(金)  
問い合わせ先：出納課  
担当：野村 宏  
電話：829 1595  
内線：3810

### 平成20年度決算概況について

( 一 般 会 計 )

#### 1 決算規模・総括

歳入総額 4,257億1千2百万円  
歳出総額 3,983億9千1百万円

平成20年度は、「健全財政の維持」を継続できるよう行政改革推進プランを着実に実施し、政令指定都市にふさわしい基盤の構築とさいたま市らしいまちづくりを進めるため「予算編成に係る集中審議」で決定した重要政策事業や「子育て支援」、「安心安全」、「オリジナリティー」を重点項目とし、市民ニーズを的確に対応できるよう、積極的に事業を推進した。

平成19年度との比較では、歳入は定額給付金及び子育て応援特別手当に伴う国庫支出金の増加や道路特定財源の減少に伴う地方特例交付金の増加などにより総額で8.7%の増、歳出では市民医療センター整備に要する衛生費、緊急経済対策として中小企業融資事業に要する商工費の増加により総額で5.0%の増となり、歳入総額、歳出総額ともに前年度を上回った。

#### 2 決算収支

歳入歳出差引額(形式収支額) 273億2千1百万円  
実質収支額 51億5千5百万円

第1表 決算状況

(単位:百万円、%)

区 分	平成20年度	平成19年度	増 減 額	増減率
予 算 現 額	442,447	408,220	34,227	8.4
歳 入 総 額	425,712	391,716	33,996	8.7
歳 出 総 額	398,391	379,389	19,002	5.0
歳入歳出差引額( - )	27,321	12,327	14,994	121.6
翌年へ繰り越すべき財源	22,165	5,197	16,968	326.5
実質収支額( - )	5,155	7,129	1,974	27.7

計数については、百万円未満切捨てのため、合計等が合わない場合がある。

### 3 歳入状況

歳入面では、国の緊急経済対策として定額給付金給付費補助金、子育て応援特別手当交付金により国庫補助金の増、道路特定財源の減収補てんのための地方特例交付金の増等により全体としては339億9千6百万円(8.7%)の増であった。

歳入の主なものについての前年度比較は、次のとおりである。

(1) 市税

納税義務者の増加に伴う個人市民税の増収や家屋の新築、土地の負担調整により固定資産税の増収となり、市税全体では40億5千3百万円(1.9%)の増となった。

(2) 地方譲与税

道路特定財源の暫定税率の一時的廃止に伴い1億3千6百万円(4.4%)の減となった。

(3) 地方特例交付金

児童手当特例交付金、減収補てん特例交付金及び地方税等減収補てん臨時交付金の増加により15億8千2百万円(108.1%)の増となった。

(4) 国庫支出金

定額給付金給付費補助金、子育て応援特別手当交付金等の交付により223億4千4百万円(56.9%)の増となった。

(5) 県支出金

選挙費委託金が減少したものの、後期高齢者医療保険基盤安定負担金の交付により2千7百万円(0.3%)の増となった。

(6) 市債

浦和駅東口再開発保留床取得、プラザノース整備事業等の減少により29億7千2百万円(7.9%)の減となった。

第2表 歳入状況

(単位:百万円、%)

区 分	平成20年度		平成19年度		増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
市 税	221,501	52.0	217,448	55.5	4,053	1.9
地 方 譲 与 税	2,924	0.7	3,060	0.8	136	4.4
地方消費税交付金	9,811	2.3	10,277	2.6	466	4.5
軽油引取税交付金	6,146	1.4	6,757	1.7	611	9.0
地方特例交付金	3,047	0.7	1,464	0.4	1,583	108.1
地 方 交 付 税	2,991	0.7	2,938	0.8	53	1.8
国 庫 支 出 金	61,635	14.5	39,291	10.0	22,344	56.9
県 支 出 金	10,322	2.4	10,295	2.6	27	0.3
市 債	34,813	8.2	37,785	9.7	2,972	7.9
そ の 他	72,512	17.1	62,397	15.9	10,115	16.2
歳 入 合 計	425,712	100.0	391,716	100.0	33,996	8.7

計数については、百万円未満切捨てのため、合計等が合わない場合がある。

自主財源比率...68.0%(市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料等2,894億2千8百万円)

「前年度(19年度)の自主財源比率...69.9%」

## 4 歳出状況

歳出面では、地域医療連携の中心的役割を果たし、安全で良質な医療を提供することを使命とした「さいたま市民医療センター」の整備、環境と安全を配慮した市内102番目となる「つばさ小学校」の建設などにより、衛生費、教育費が伸び、更に20年度は急激な経済状況の悪化により、本市における経済活動の安定を図るため緊急経済対策を講じたことにより、商工費が大幅に伸び、全体としては190億2百万円(5.0%)の増となった。

歳出の主なものについての前年度比較は、次のとおりである。

### (1) 目的別歳出決算の状況

#### ア 民生費

老人福祉施設(特別養護老人ホーム)建設費の補助及び後期高齢者医療事業への一般会計繰出金の増額等により50億6千6百万円(5.0%)の増となった。

#### イ 衛生費

市民医療センター整備費の増額等により、101億1千3百万円(29.3%)の増となった。

#### ウ 商工費

緊急経済対策として中小企業資金融資事業等の増額により、44億円(82.7%)の増となった。

#### エ 土木費

西大宮駅設置事業、北部拠点宮原地区まちづくり推進事業等の増額、浦和駅周辺市街地再開発推進事業等の減額により全体で70億7千万円(7.2%)の減となった。

#### オ 教育費

つばさ小学校建設事業、教育情報ネットワーク推進事業の増額等により25億3百万円(6.9%)の増となった。

#### カ 公債費

臨時財政対策債、合併特例債の元利償還金等の増額により52億4千8百万円(14.0%)の増となった。

第3表 歳出状況(目的別)

(単位:百万円、%)

款	平成20年度		平成19年度		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
議会費	1,598	0.4	1,545	0.4	53	3.4
総務費	47,263	11.9	47,249	12.4	14	0.0
民生費	106,411	26.7	101,345	26.7	5,066	5.0
衛生費	44,648	11.2	34,535	9.1	10,113	29.3
労働費	766	0.2	996	0.3	230	23.1
農林水産業費	1,470	0.4	1,550	0.4	80	5.2
商工費	9,718	2.4	5,318	1.4	4,400	82.7
土木費	91,206	22.9	98,276	25.9	7,070	7.2
消防費	13,661	3.4	14,674	3.9	1,013	6.9
教育費	38,968	9.8	36,465	9.6	2,503	6.9
公債費	42,678	10.7	37,430	9.9	5,248	14.0
諸支出金	0	-	0	-	0	-
歳出合計	398,391	100.0	379,389	100.0	19,002	5.0

計数については、百万円未満切捨てのため、合計等が合わない場合がある。

(2) 性質別歳出決算の状況

ア 義務的経費

人件費については、職員数の減少に伴い14億4千1百万円(1.9%)の減、扶助費については、生活保護費及び自立支援給付費等の増額により25億2千1百万円(4.7%)の増、公債費では、臨時財政対策債、合併特例債等の元利償還金の増額により44億8千2百万円(12.6%)の増など、全体で55億6千2百万円(3.3%)の増となった。

イ 投資的経費

さいたま市民医療センター整備事業、西大宮駅設置事業、つばさ小学校建設事業等が進捗する一方、浦和駅周辺市街地再開発推進事業及び鉄道博物館整備事業の完了等による減額により、9千万円(0.1%)の増となった。

ウ その他の経費

中小企業資金融資事業及び財政調整基金積立金等の増額により、133億5千万円(9.8%)の増となった。

第4表 歳出状況(性質別)

(単位:百万円、%)

区 分	平成 20 年度		平成 19 年度		増減額	増減率	
	金 額	構成比	金 額	構成比			
義務的 経費	人件費	75,962	19.1	77,403	20.4	1,441	1.9
	扶助費	56,684	14.2	54,163	14.3	2,521	4.7
	公債費	40,050	10.1	35,568	9.4	4,482	12.6
	計	172,696	43.4	167,134	44.1	5,562	3.3
投資的経費	76,567	19.2	76,477	20.2	90	0.1	
その他の経費	149,128	37.4	135,778	35.8	13,350	9.8	
合 計	398,391	100.0	379,389	100.0	19,002	5.0	

計数については、百万円未満切捨てのため、合計等が合わない場合がある。

## [ 特別会計 ]

国民健康保険事業特別会計外18会計の収支状況は、次のとおりである。

### 1 決算規模

<b>歳入総額</b>	<b>1,785億7千4百万円</b>
	(前年度に比べ、602億2千8百万円、25.2%)
<b>歳出総額</b>	<b>1,743億3千7百万円</b>
	(前年度に比べ、632億6千4百万円、26.6%)

### 2 決算収支

<b>歳入歳出差引額(形式収支額)</b>	<b>42億3千7百万円</b>
<b>実質収支額</b>	<b>41億5千3百万円</b>